2018年3月期
決算説明会資料

2018年5月30日

日工株式会社

証券コード　6306

代表取締役社長　　西川　貴久
取締役財務部長　　藤井　博

目次

- 情報開示の拡充について　P3
- 会社概要　P4-6
- 2017年度実績・2018年度見通し　P7-20
- 事業環境と経営戦略　P21-35
- 参考資料　P36-39

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

情報開示の拡充について

- 決算発表時に決算補足説明資料を開示
- 決算説明会資料（英語版）の作成・開示
- 説明文付き決算説明資料の開示
- 説明会質疑応答集の作成・開示
- １Q・３Qのコンファレンス会議開催
- 10月22日　投資家、アナリスト向け
  本社新製品見学会「NIKKOメッセ2018 」の開催

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

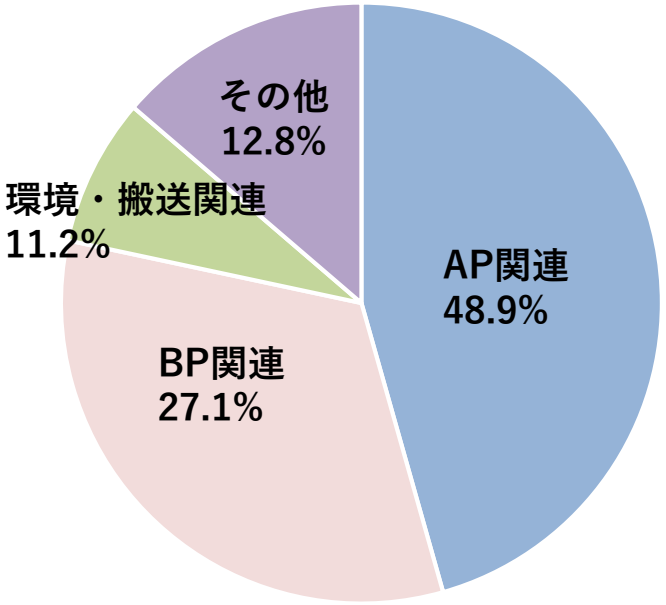
会社概要

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

会社概要（1）

■会社名	日工株式会社（Nikko Co.,Ltd）	
■本社住所	兵庫県明石市大久保町江井ヶ島1013-1	
■創立	1919年（大正8年）8月13日	
■資本金	91億97百万円	（2018年3月末）
■連結売上高	351億14百万円	（2018年3月期）
■連結営業利益	21億4百万円	（2018年3月期）
■海外売上高比率	11.3%	（2018年3月期）
■子会社数	7社	（2018年3月期）
■連結従業員数	807名	（2018年3月末）
■企業統治体制	監査役会設置会社 取締役7名（うち社外2名） 監査役4名（うち社外3名）	（2018年3月末）

事業別売上構成比率（18/3）



※AP=アスファルトプラント
BP=バッチャープラント(コンクリート)

取締役社長 西川貴久

<経営理念>
日工グループは、「お客様第一主義」を経営理念とし、
お客様に真に満足いただける製品とサービスを提供するとともに、
広く社会から信頼され、お客様と共に発展する”ソリューションパートナー”
となることを使命に、自己変革してまいります。

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

会社概要（2）

沿革

製品展開

1919 創立
　　トンボ印の農土木工具
1951 コンクリートミキサー・
　　ウィンチ
1956 生コンプラント
1958 アスファルトプラント
1962 パイプサポート
1963 パイプ足場
1966 コンベア・搬送システム
1983 水門
2000 油汚染土壌浄化システム
2001 廃プラスチック処理システム
2007 コンクリートポンプ
2015 破砕機（輸入販売）

生産拠点展開

1919 本社工場
1938 産機工場
1968 東京工場
1994 幸手工場
2004 上海嘉定工場
2014 加古川工場
2016 福崎工場

海外展開

1993 独ベニングホーヘン
　　資本出資
1994 独ニッコーバウマー
　　シーネン
1997 台湾台北
2001 日工（上海）工程機械
2010 山推礎天工程機械

国内グループ展開（買収・譲渡含む）

1968 市石工業所（M&A）
1971 日工電子工業（子会社）
1983 日工マシナリー（子会社）
1994 トンボ工業（子会社）
1995 日工セック（子会社）
2002 新潟鉄工所（事業譲渡）
2006 三菱重工業（事業譲渡）
2008 前川工業所（M&A）

2019年8月創立百周年

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2017年度実績・2018年度見通し

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2017年度　業績ハイライト（1）

（単位：百万円）

	2016年度実績	2017年度実績	増減率	2017年度予想
売上高	32,717	35,114	107.3%	34,500
営業利益	1,944	2,103	108.2%	2,100
営業利益率	5.9%	6.0%		6.1%
経常利益	1,993	2,239	112.3%	2,200
親会社株主に帰属する当期純利益	1,340	1,490	111.2%	1,500
受注高	34,134	33,616	98.5%	ー
受注残高	11,629	10,132	87.1%	ー

（単位：円）

為替レート（EUR）	120.53	127.19	+6.66	118.79
為替レート（RMB）	16.40	16.63	+0.23	17.00

中国でのAP売上増（+12億円）、大型環境製品の売上集中（+14億円）
原材料値上がりにより原価率が1.1%悪化したが売上の増加でカバーし159百万円の増益となる

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2017年度　業績ハイライト（2）

（単位：百万円）

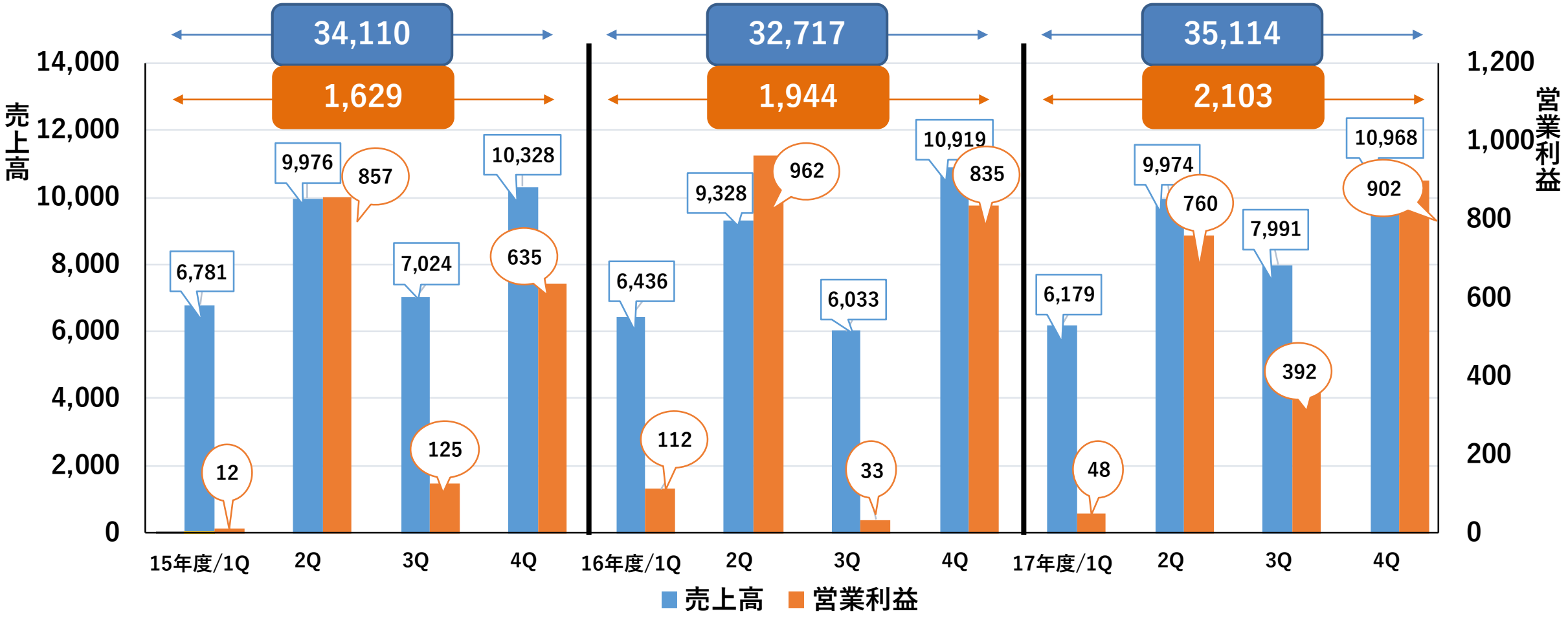
		2016年度実績	2017年度実績	前年比	2017年度予想
ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾟﾗﾝﾄ関連事業	売上高	16,580	17,180	600 103.6%	17,700
	営業利益	1,253	1,348	95 107.6%	1,400
	営業利益率	7.6%	7.8%		7.9%
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾗﾝﾄ関連事業	売上高	9,356	9,522	166 101.8%	9,200
	営業利益	1,006	1,015	9 100.9%	900
	営業利益率	10.8%	10.7%		9.8%
環境及び搬送関連事業	売上高	2,647	3,932	1,285 148.5%	3,500
	営業利益	369	309	▲ 60 83.7%	450
	営業利益率	13.9%	7.9%		12.9%
その他事業	売上高	4,133	4,481	348 108.4%	4,100
	営業利益	417	463	46 111.0%	450
	営業利益率	10.1%	10.3%		11.0%
全社費用		▲ 1,102	▲ 1,031		

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2017年度　業績ハイライト（3）

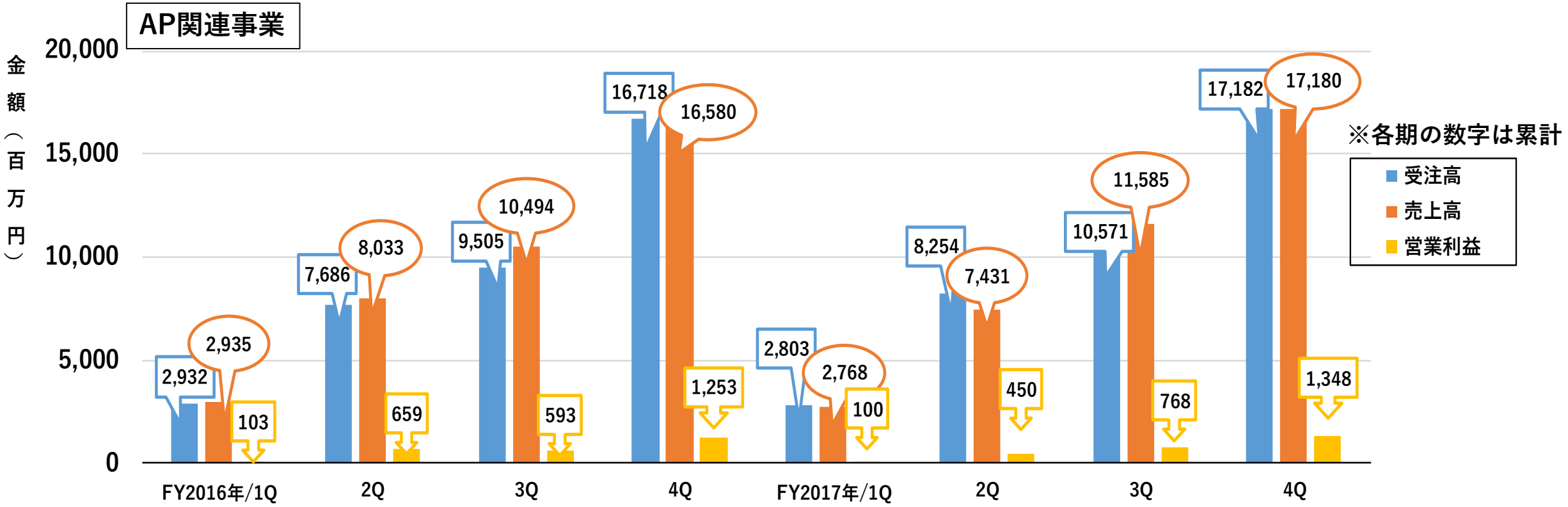
四半期別売上高・営業利益推移

（単位：百万円）



www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

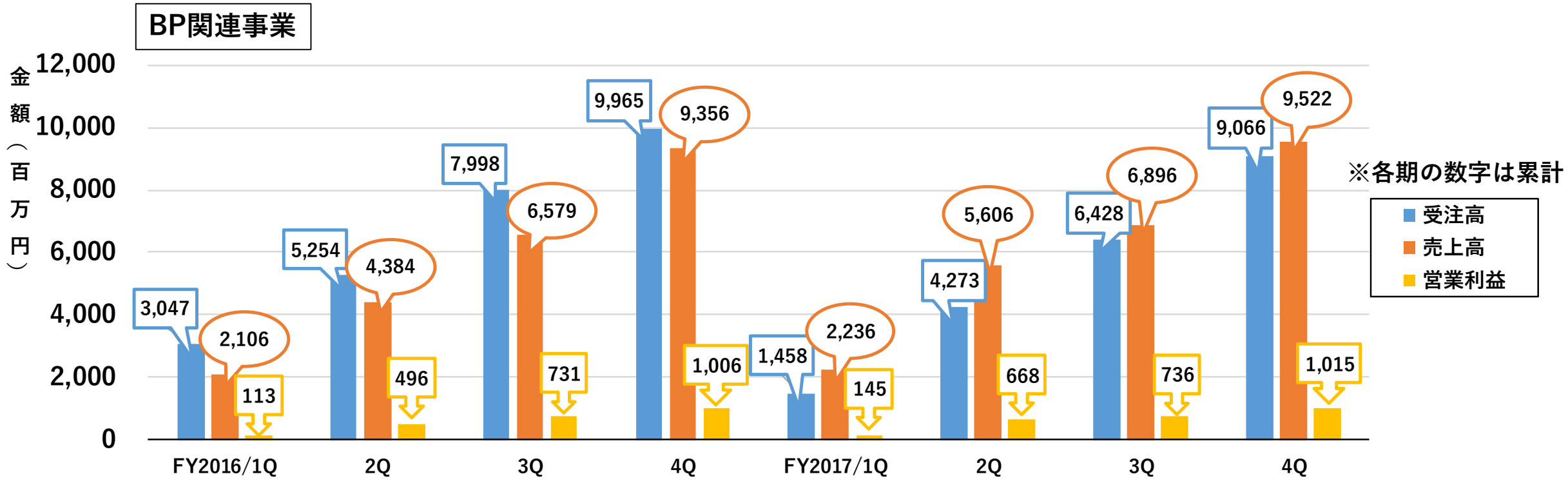
アスファルトプラント関連事業



受注高	中国での受注が好調。国内は横ばい。都市部の大型プラントの更新投資は一巡感あり
売上高	中国での売上が大幅に増加。国内はプラント製品の売上は横ばいながらメンテナンスサービスの売上が減少
営業利益	中国での売上増加による利益貢献大。国内はサービスの売上が減少したため利益は減少

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

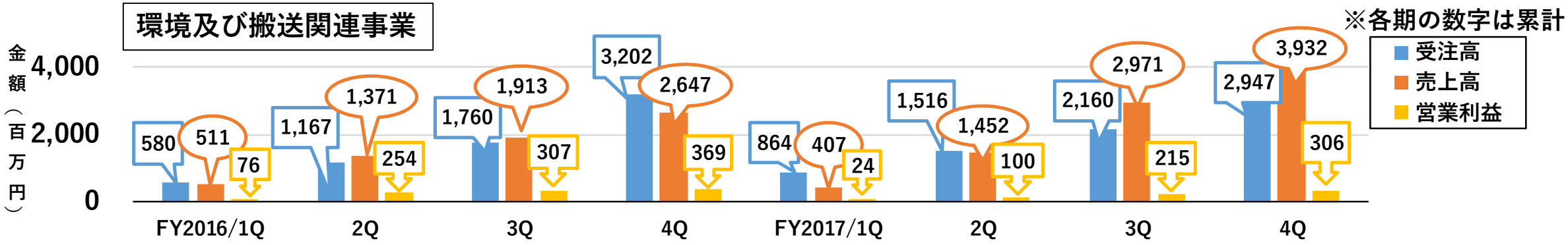
コンクリートプラント関連事業



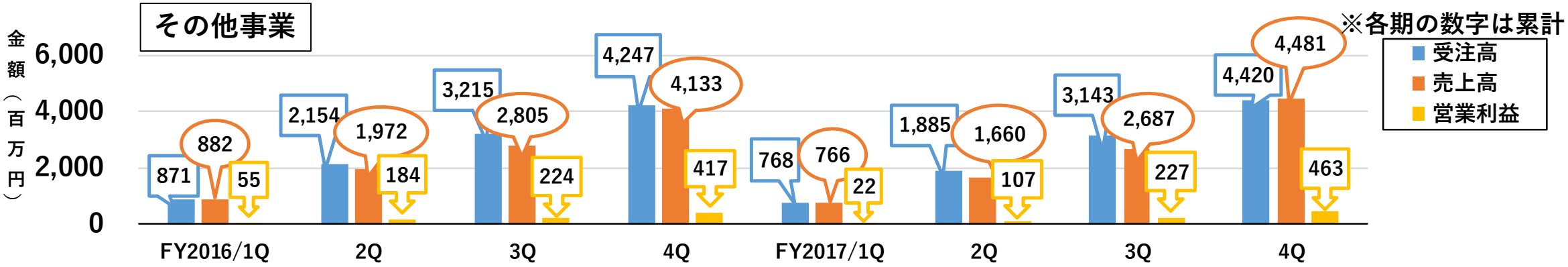
受注高	過去２年、高水準で受注額が推移してきた反動、また生コン出荷量が前期比減少したこともあり減少
売上高	製品売上は前期並みも、メンテナンスサービスが増加。生コンの市場価格が改善したことがメンテナンスサービスが伸びた要因
営業利益	ほぼ前期並みの営業利益を確保。不採算のポンプ車の売上が減少したことで前期同様、比較的高水準の利益率を確保

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

環境及び搬送関連、その他事業



受注高　　前期は高炉メーカー向けスケール乾燥装置の受注があった関係で反動減。搬送は横ばい
売上高　　スケール乾燥装置を含め環境プラントで大型案件の売上が３件あったために大幅増。搬送も大型案件あり前期比増加
営業利益　大型環境製品の低採算がひびき、利益率が大幅に悪化したために前期比減少

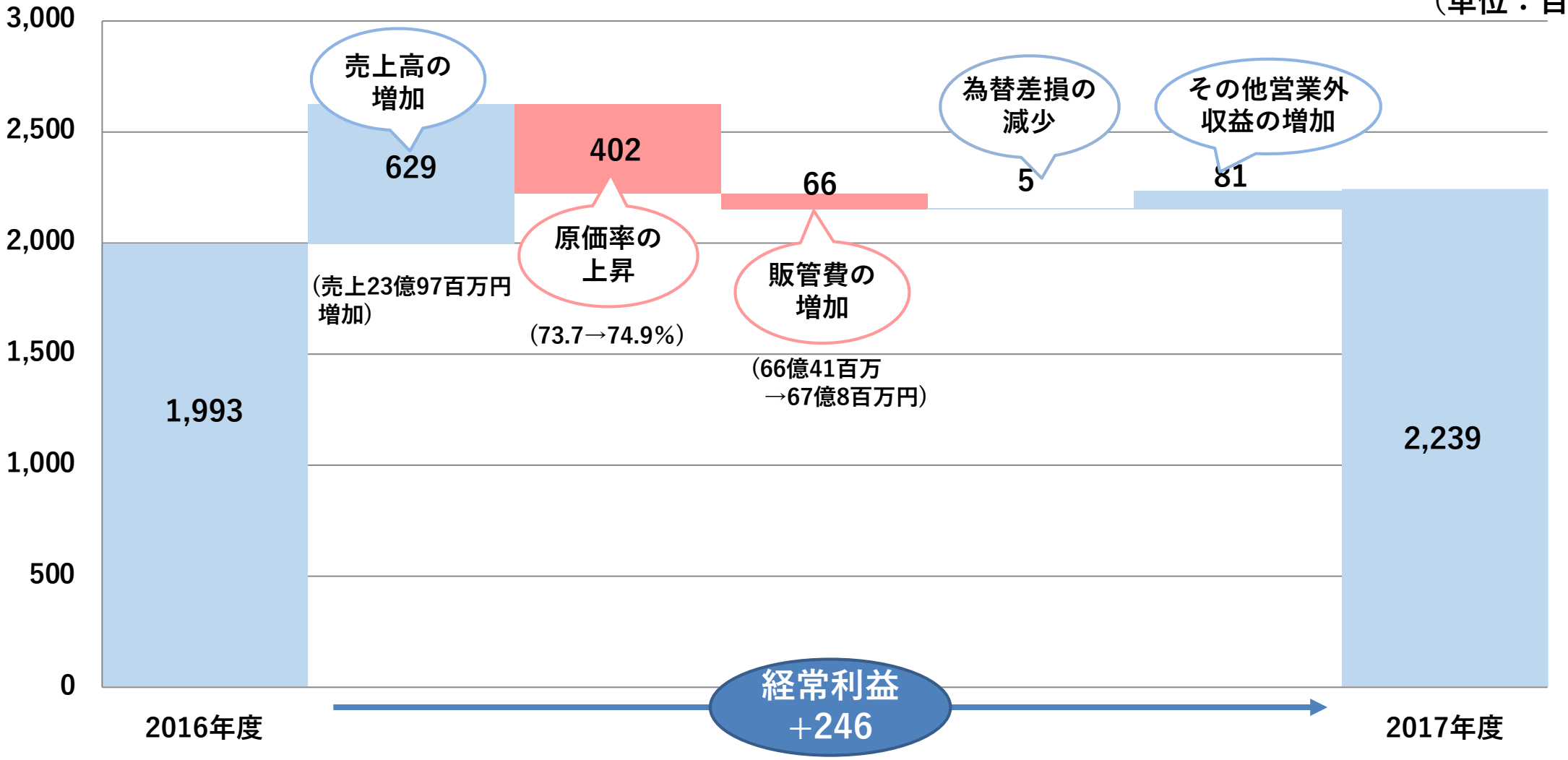


受注高　　破砕機の受注が好調に推移。土農工具も降雪の影響で増加。一方で仮設機材、防水板は減少。全体では前期比増加
売上高　　破砕機・土農工具の売上が増加。仮設機材・防水版は減少するも全体では前期比増加
営業利益　破砕機は利益面でも大きく増加、仮設機材は売上減少も利益が増加したことで、全体では前期比増加

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2017年度　経常利益 増減要因分析

（単位：百万円）



www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

バランスシートの推移

（単位：百万円）

		2016年度	2017年度	増減	増減の主な要因
資産	流動資産	30,764	30,797	+33	増加：売掛金 ＋971百万円 減少：現金及び預金 ▲511百万円 たな卸資産 ▲244百万円 有価証券 ▲21百万円 繰延税金資産 ▲126百万円
	有形固定資産	5,206	5,281	+75	増加：投資有価証券 ＋213百万円 建設仮勘定 ＋153百万円 減少：出資金 ▲171百万円
	無形固定資産	331	318	▲ 13	
	投資その他	8,673	8,704	+31	
総資産合計		44,976	45,101	+125	
負債	流動負債	12,494	11,455	▲ 1,039	増加：長期繰延税金負債 ＋182百万円 減少：未払法人税等 ▲418百万円 環境対策引当金 ▲171百万円 長期借入金 ▲134百万円 退職給付に係る負債 ▲123百万円
	固定負債	3,392	3,360	▲ 32	
純資産合計		29,089	30,286	+1,197	増加：当期純利益 ＋1,490百万円 その他有価証券評価差額金 ＋255百万円 減少：自己株式の取得 ▲246百万円 配当金の支払 ▲424百万円
１株当たり純資産(円 銭)		3,746	3,956	+209	

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2018年度の業績見通し（1）

（単位：百万円）

	2017年度			2018年度予想				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	16,153	18,961	35,114	16,000	18,000	34,000	▲ 1,114	96.8%
営業利益	808	1,296	2,103	950	1,200	2,150	47	102.2%
営業利益率	5.0%	6.8%	6.0%	5.9%	6.7%	6.3%	0.3%	105.6%
経常利益	925	1,314	2,239	1,050	1,250	2,300	61	102.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	743	747	1,490	750	800	1,550	60	104.0%
受注高	15,933	17,683	33,616	16,000	18,000	34,000	384	101.1%
受注残高	－	－	10,132	10,132	10,132	10,132	0	100.0%

（想定）　（単位：円）

為替レート（EUR）	122.16	132.21	127.19	130.0	135.0	132.5
為替レート（RMB）	16.36	16.90	16.63	17.0	17.0	17.0

2018年度は大型の環境製品売上予定なし（前期3物件）
中国AP事業は2017年度を上回る売上を見込む
APサービスの原価率2.6%改善による利益増200百万円を見込む

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2018年度の業績見通し（2）

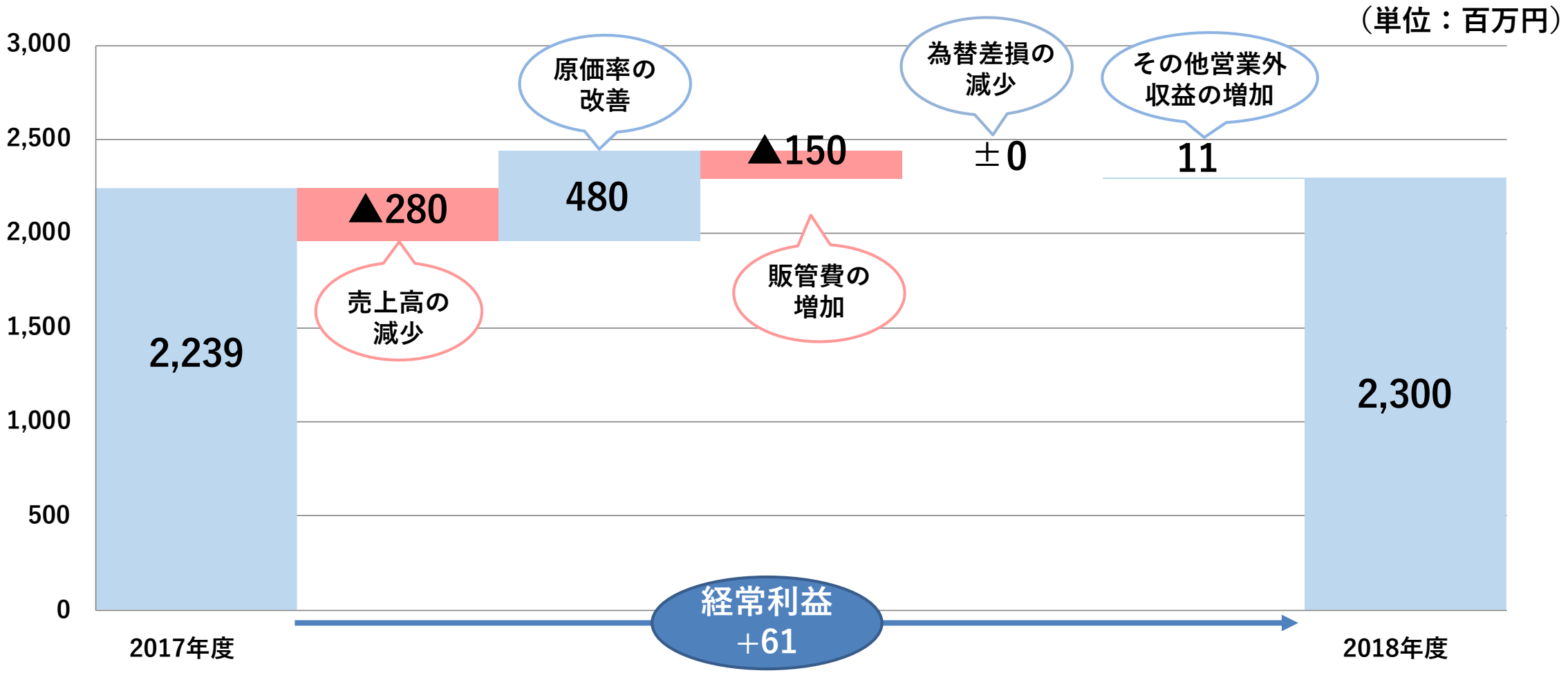
（単位：百万円）

		2016年度実績			2017年度実績			2018年度計画			
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前年比
ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾟﾗﾝﾄ関連事業	売上高	8,034	8,546	16,580	7,432	9,747	17,179	8,800	9,000	17,800	621 103.6%
	営業利益	659	594	1,253	450	897	1,348	750	760	1,510	162
	営業利益率	8.2%	7.0%	7.6%	6.1%	9.2%	7.8%	8.5%	8.4%	8.5%	
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾗﾝﾄ関連事業	売上高	4,384	4,972	9,356	5,606	3,915	9,521	4,200	4,800	9,000	▲ 521
	営業利益	497	509	1,006	669	346	1,015	420	480	900	▲ 115
	営業利益率	11.3%	10.2%	10.8%	11.9%	8.8%	10.7%	10.0%	10.0%	10.0%	
環境及び搬送関連事業	売上高	1,372	1,275	2,647	1,453	2,477	3,931	1,300	1,300	2,600	▲ 1,331
	営業利益	254	115	369	101	207	308	130	130	260	▲ 48
	営業利益率	18.5%	9.0%	13.9%	7.0%	8.4%	7.9%	10.0%	10.0%	10.0%	
その他事業	売上高	1,973	2,160	4,133	1,660	2,820	4,480	1,700	2,900	4,600	120
	営業利益	184	233	417	107	355	462	170	350	520	58
	営業利益率	9.3%	10.8%	10.1%	6.5%	12.6%	10.3%	10.0%	12.1%	11.3%	

APの売上増は中国(+2億円)、中国以外の海外(+3億円)。APの増益は、サービスの原価率の改善(+2.6%)
BPの売上減は製品の売上高減少(▲5億円)、環境搬送の売上減は、環境で大型物件がないため
その他の売上増は破砕機(+2億円)、不動産賃貸(+1億円)

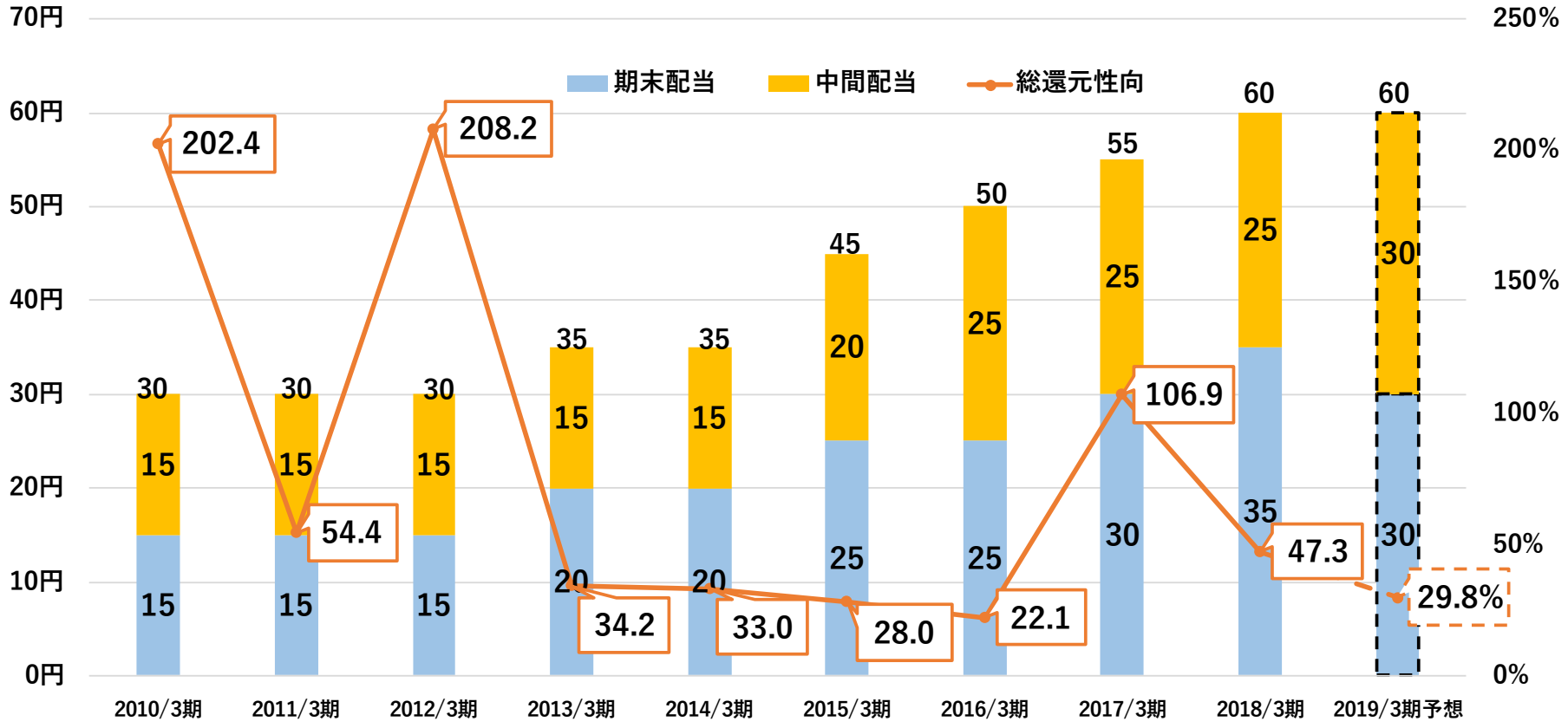
www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2018年度　経常利益 増減要因分析



www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

配当金及び総還元性向の推移

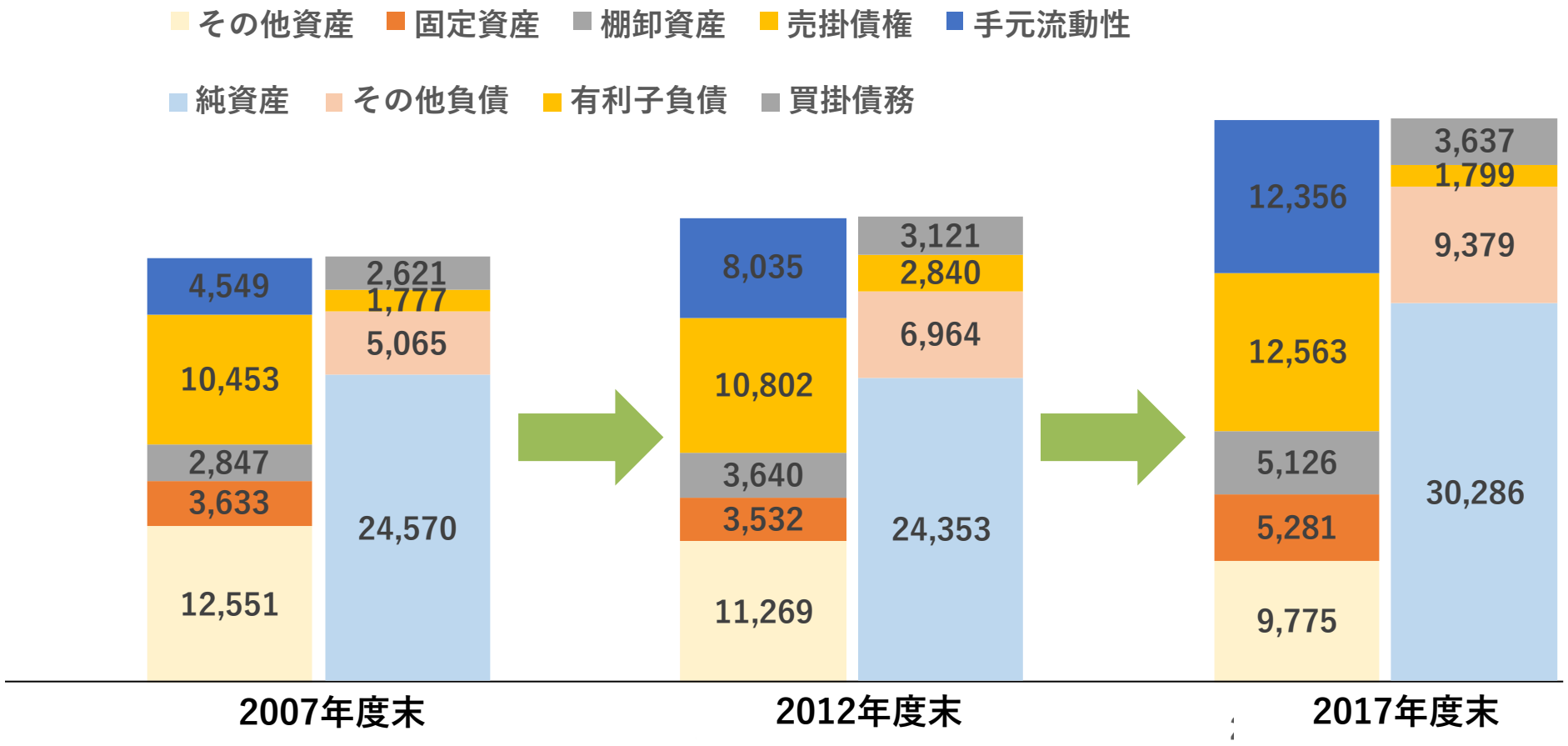


（単位：百万円）

自社株買い	1	1	4	9	1	2	1	1,006	246	－
自社株消却	0	0	0	0	0	0	0	0	752	－

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

財務戦略



大型の設備投資は2018年度にて終了。2019年度以降は巡航速度に
研究開発費は横ばいで今後も推移。手元現金はM&A、海外生産拠点に投資予定
現状以上の純資産の積み上げは不要と考えており、株主還元に回す予定

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

事業環境と経営戦略

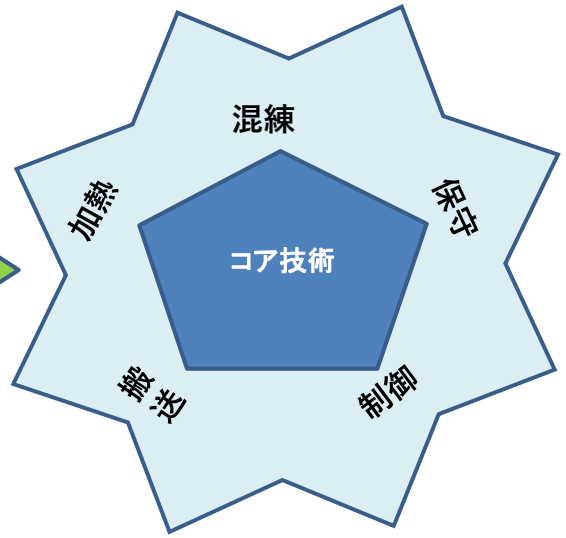
www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

日工のビジネスモデル

”街をつくるキカイ”を提供して1世紀
循環型社会の構築に貢献

＜インプット＞

- 強固な財務基盤
- 参入障壁の高い独自技術
- 顧客ニーズに応える研究開発体制
- ソリューションパートナーとして顧客企業からの信頼
- 調達先とのパートナーシップ



＜アウトプット＞

製品・サービス
アスファルトプラント
バッチャープラント
リサイクルプラント

財務成果
キャッシュの創出
利益率の改善
成長投資のための内部留保
株主配当

社会・環境への対応
省エネ循環型プラントの投入
騒音・安全・防災対策
コンプライアンス意識の徹底

＜アウトカム＞

- 顧客企業の利益へ貢献
- インフラ整備を通じ地域社会へ貢献
- 持続性のある循環型社会へ貢献
- 強固なブランドと良好な評判
- 従業員満足度の向上
- 株主リターンの向上

中計最終年度（2018年度）

売上高　320億円
営業利益率　7％

ヒアリング・課題把握 → シミュレーション・テスト実施 → 見積もり提出（933件 699億円） → 受注（244件 102億円） → 製造 → 現地据付 → 保守メンテ（国内120億円）

見積もり、受注、保守メンテは2017年度実績値（日工単体）

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

現在の中期経営計画（2016～2018年度）

国内基盤事業の安定化

国内外の顧客価値を高める、需要を連鎖する商品企画を立案

APの中・小規模工場の設備投資を喚起する商品開発	工場運営の省人化コントロール機能の開発	BP新型ミキサの開発	工事・災害復旧用移動式(車載式)小型ＢＰの開発
・デザイン性向上、見せる商品化実現 ・メンテナンスを考慮した構造へ変換 ・機器のユニット交換の簡便性の向上	・APのワンマンコントロールの実現へ自動 化操作盤開発 ・BPのメンテ管理機能の充実 (操作盤グレードアップ)	・新たな視点で練り混ぜ機能を探る (構造検討・実験を繰り返し2年後の開発を目指す)	・工場集約化によるプラントの減少を想定 (1年後の開発を目指す)
AP旗艦プラント Value Pack（VP）シリーズ化 2018年度の計画を含め計6台、金額17億円 NIKKOメッセ2018実機展示予定	新型操作盤 CyberAdvanceの開発完了 2018年5月、販売開始 NIKKOメッセ2018実機展示予定	二軸フルーモードミキサの試験練が完了 NIKKOメッセ2018実機展示予定	構想がまとまり NIKKOメッセ2018実機展示予定

16～17年度実績

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

現在の中期経営計画（2016～2018年度）

【国内】 成 長 戦 略

各事業のコア技術、強みを融合し、新たな商品価値を創造

搬送、環境領域の異業種への参入

・コア技術を融合し多品目の材料に対応した装置開発

破砕事業の推進

・一次破砕機の開発
・破砕技術のエンジニアリング体制強化
・移動式破砕機を含めた投資提案推進

トンネル工事を睨んだ製品事業の推進

・土砂排出、埋戻し固化装置の開発
・トンネル用BP、メンテ用ケレン設備の開発

総合熱処理メーカーを目指した事業推進

・焼却炉を含めた高熱処理技術の習得と製品開発

16～17年度実績

大手エンジニアリング会社とタイアップし、製鉄所に加熱コア技術を利用した９億円の設備導入
ユーザーより海外向けリピート商談発生

構想がまとまり自社オリジナル製品の製作中
NIKKOメッセ2018実機展示予定

SEC工法
超高強度繊維補強コンクリートの混練性能試験の実施完了

既存製品の機能アップ（リサイクルドライヤ、バク等）
加熱技術のロードマップに基づいた製品開発は途上である

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

現在の中期経営計画（2016～2018年度）

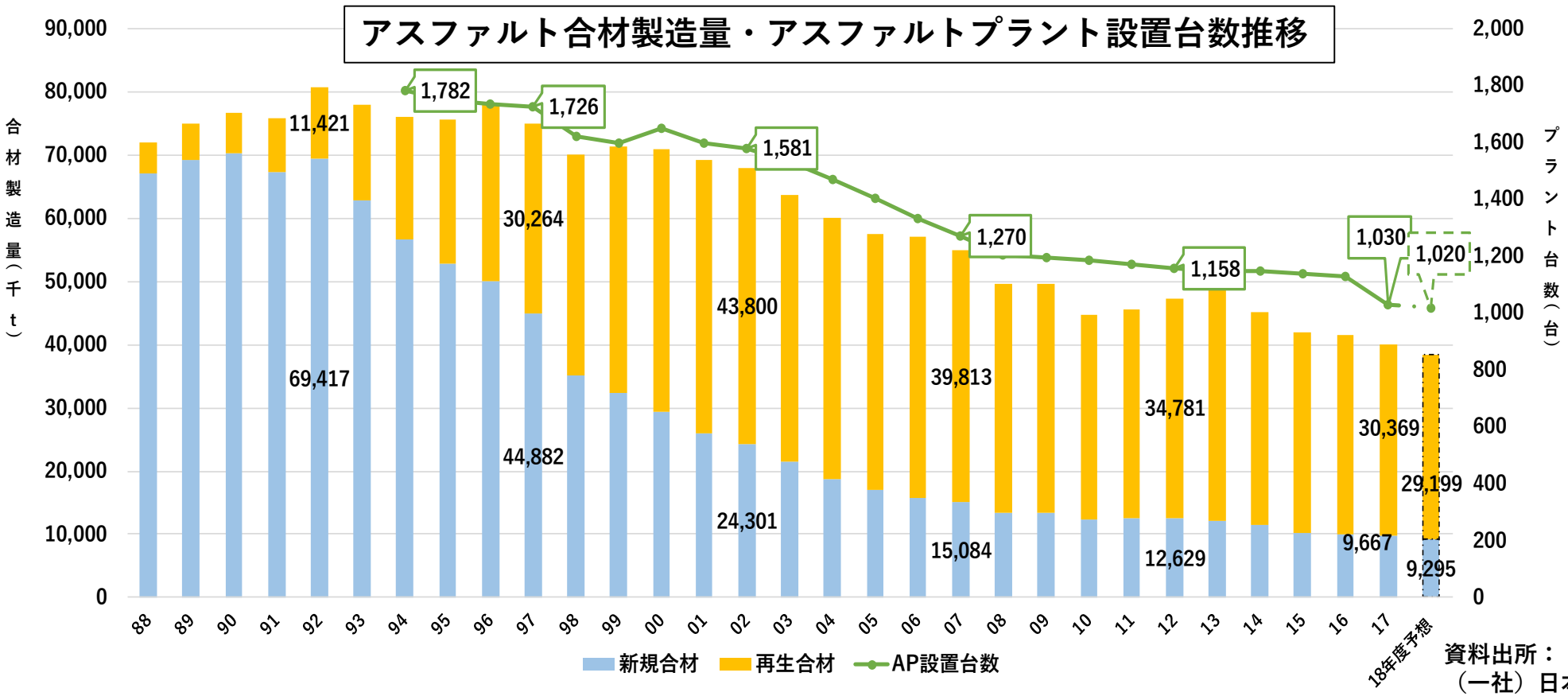
【海外】 成 長 戦 略

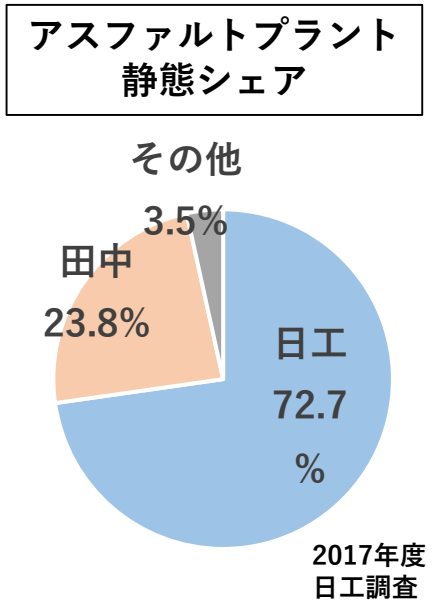
国内外の顧客価値を高める、需要を連鎖する商品企画を立案

	東南アジア対象国に合致する商品開発、新たな販売店の発掘	中国市場の売上アップ ・リサイクル設備、省エネ製品を拡販 ・設備導入によるコア製品の生産量アップ ・拡販に向けた営業マンの採用と育成	活動国に対し、メンテナンス事業強化を行う人材の確保･育成 ・サービスメンバーの新たな派遣を含めた体制創り	新たな生産拠点の模索 ・適正コスト、品質管理可能エリアの選別 ・進出している日本企業との提携等、幅広い情報収集
16～17年度実績	モバイルプラントの開発完了しタイ現地生産化 代理店開拓インドネシア１社 生産拠点開拓タイ２社。 マレーシアの鋳物工場開拓	15年度:AP13台→17年度:18台(内環境対応都市型4台、リサイクル付6台) 売上高21億→1.5倍の33億円	人材確保3名（タイ人、台湾人、ベトナム人）	部品の海外調達比率アップのためマレーシア鋳物業者開拓 あらたな生産拠点模索中

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

APの事業環境と見通し



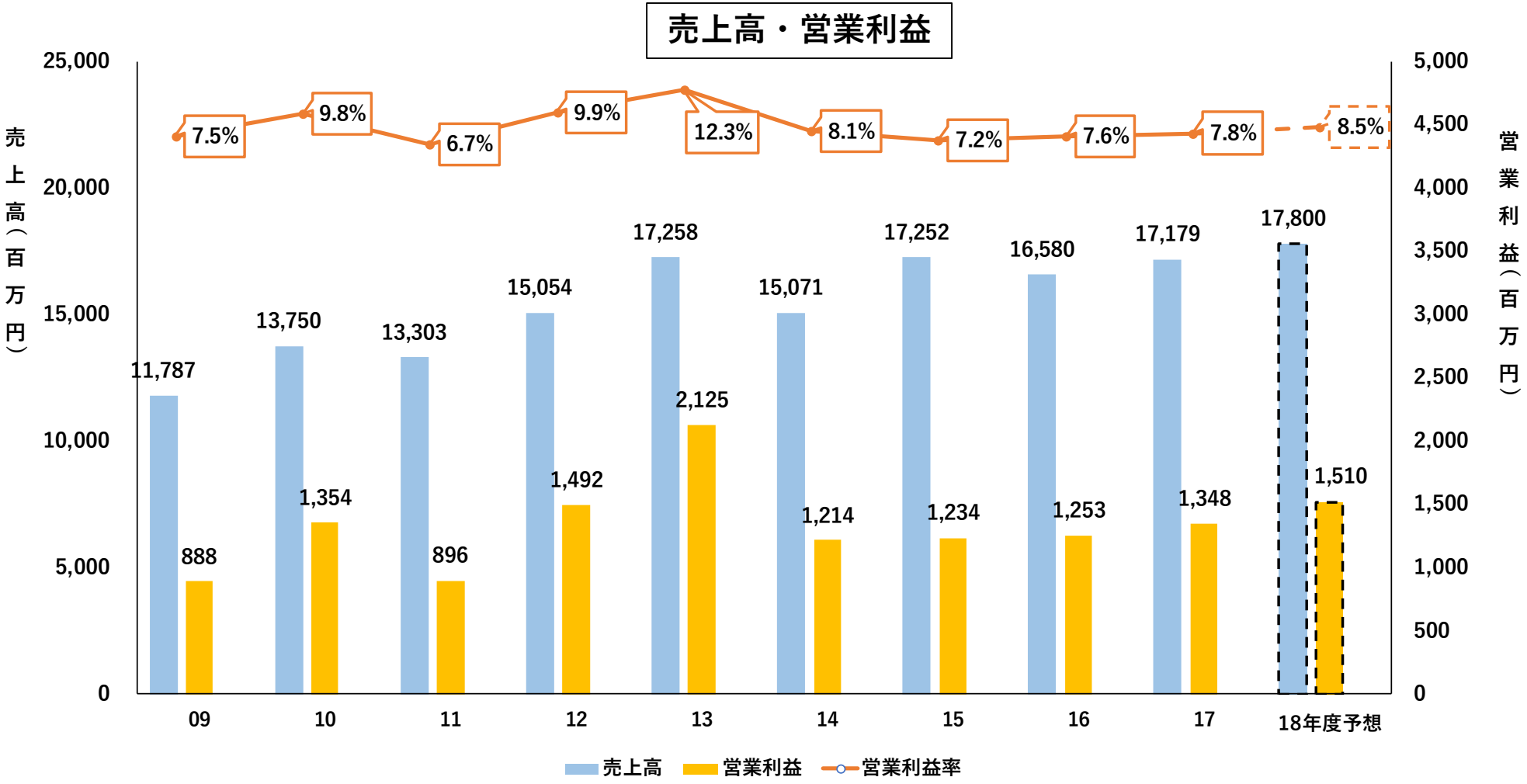


資料出所：
（一社）日本アスファルト合材協会
18年度は日工予想

東日本大震災などで需要は持ち直したが2013年度以降はアスファルト合材製造数量やAP設置台数は減少傾向
18年度も前年度をやや下回ると見ており、需要は厳しい状況が続くと予想
ただ更新が先延ばしされた道路会社のAP投資意欲は旺盛であり、AP需要は前年度並みと予想

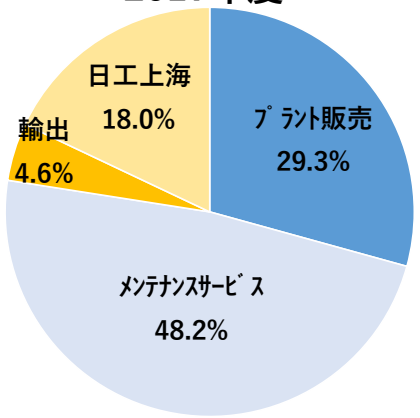
www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

AP詳細と今後の戦略（1）



AP事業売上比率

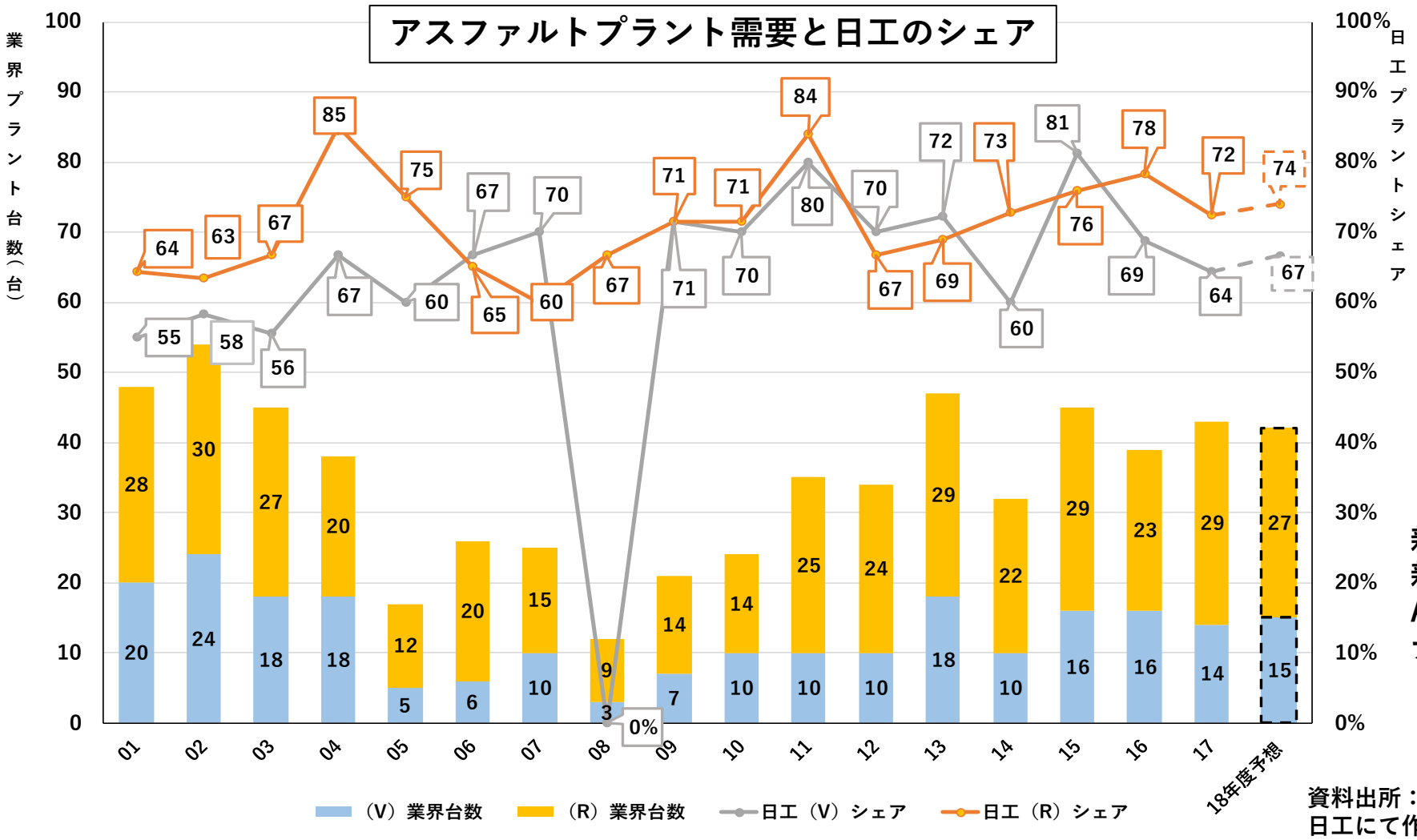
2017年度



対前年売上高伸長率	
プラント販売	99.9%
メンテサービス	94.5%
日工上海	160.0%
輸出	91.4%

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

AP詳細と今後の戦略（2）



資料出所：
日工にて作成

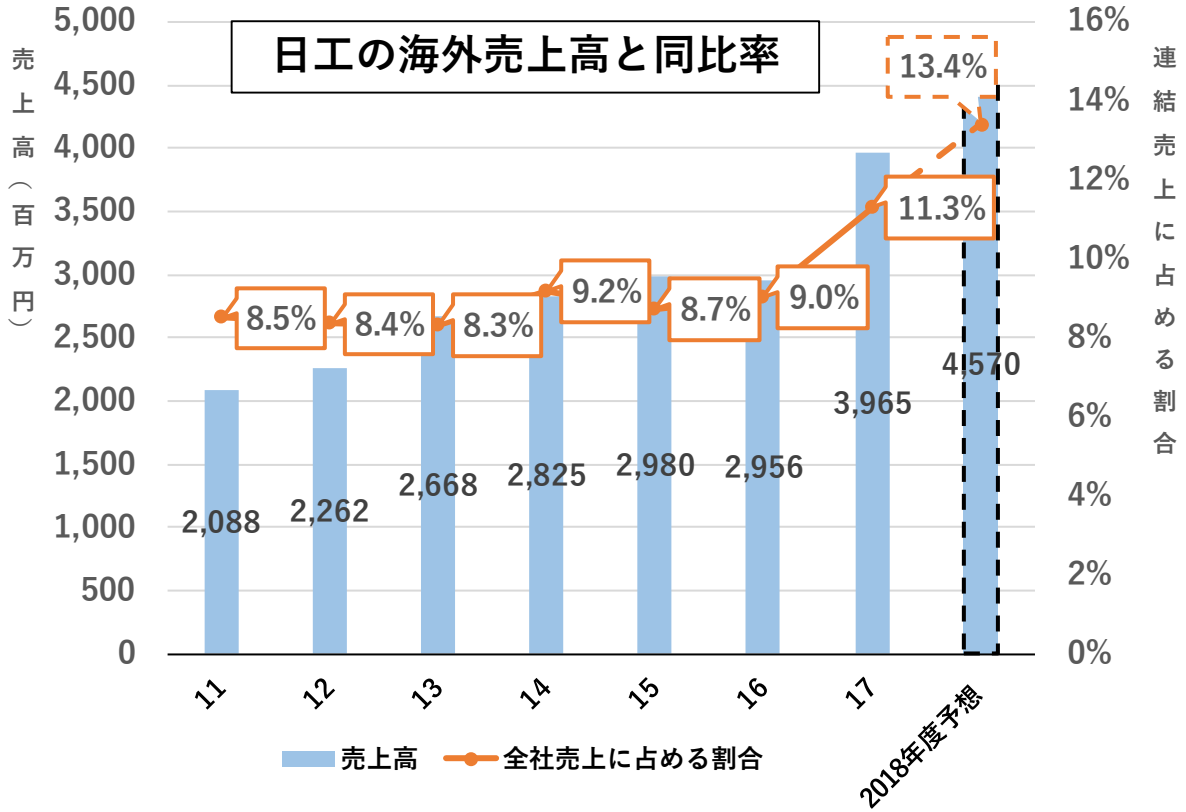
AP事業新製品実績　（単位：台、百万円）

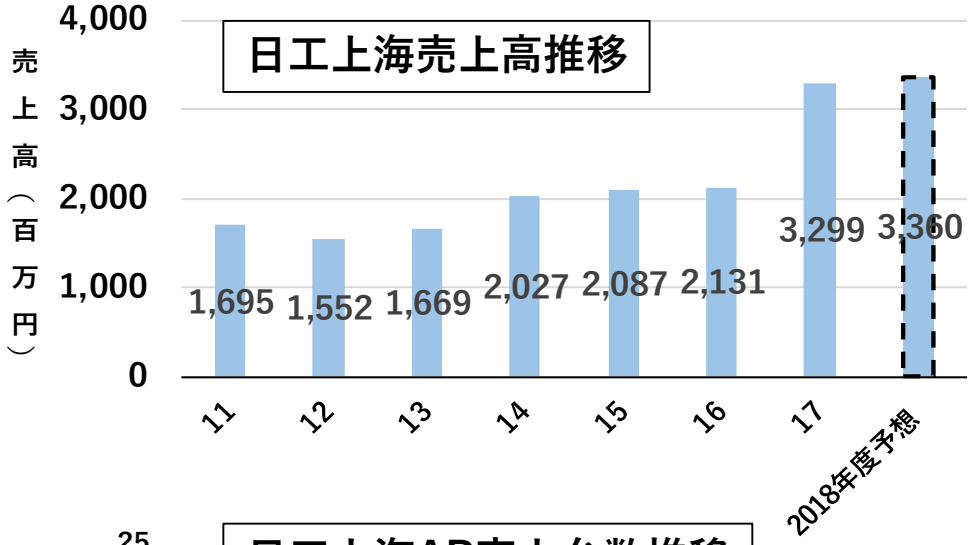
	14	15	16	17	18年度予想
VP台数	0	0	1	2	3
VP売上	0	0	211	580	923
ミッドシップ台数	1	2	1	1	1
ミッドシップ売上	375	1,060	410	406	337
破砕プラント台数	1	1	0	1	0
破砕プラント売上	72	152	0	125	0

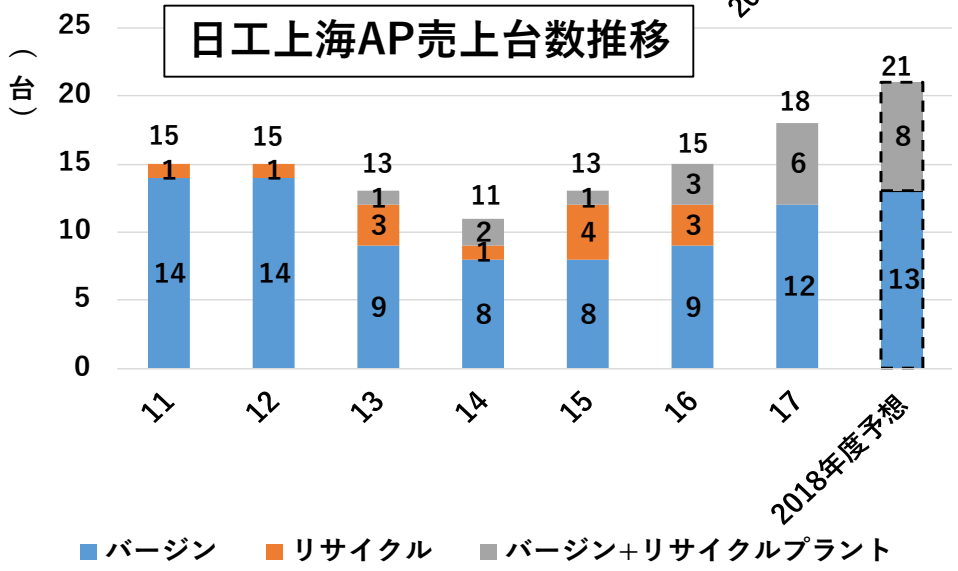
新型AP「VPタイプ」のシリーズ化、
新型リサイクルユニット、中温化対応設備、
AP工場向け破砕設備など新型設備をライン
ナップに追加しユーザー獲得を進める

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

AP詳細と今後の戦略（3）



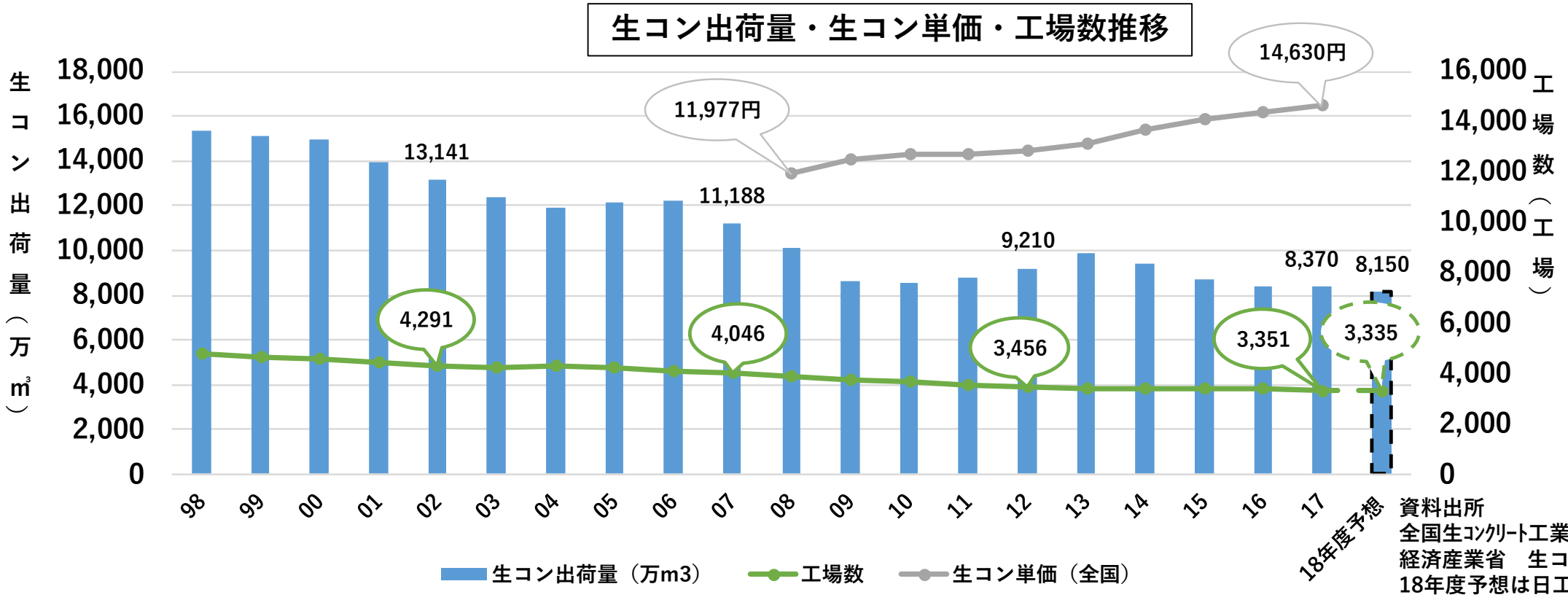




ユーザーはコストダウンが主目的でリサイクル合材を使用
中国の高速道路は100%新材を使用
1級道路、2級道路の下層中層はリサイクル材を使用可、表層は不可
地方の道路、メインでない幹線道路、駐車場、場内舗装などは
リサイクル材の使用が可能
近年環境製品に対する関心が高くなっている

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

BPの事業環境と見通し



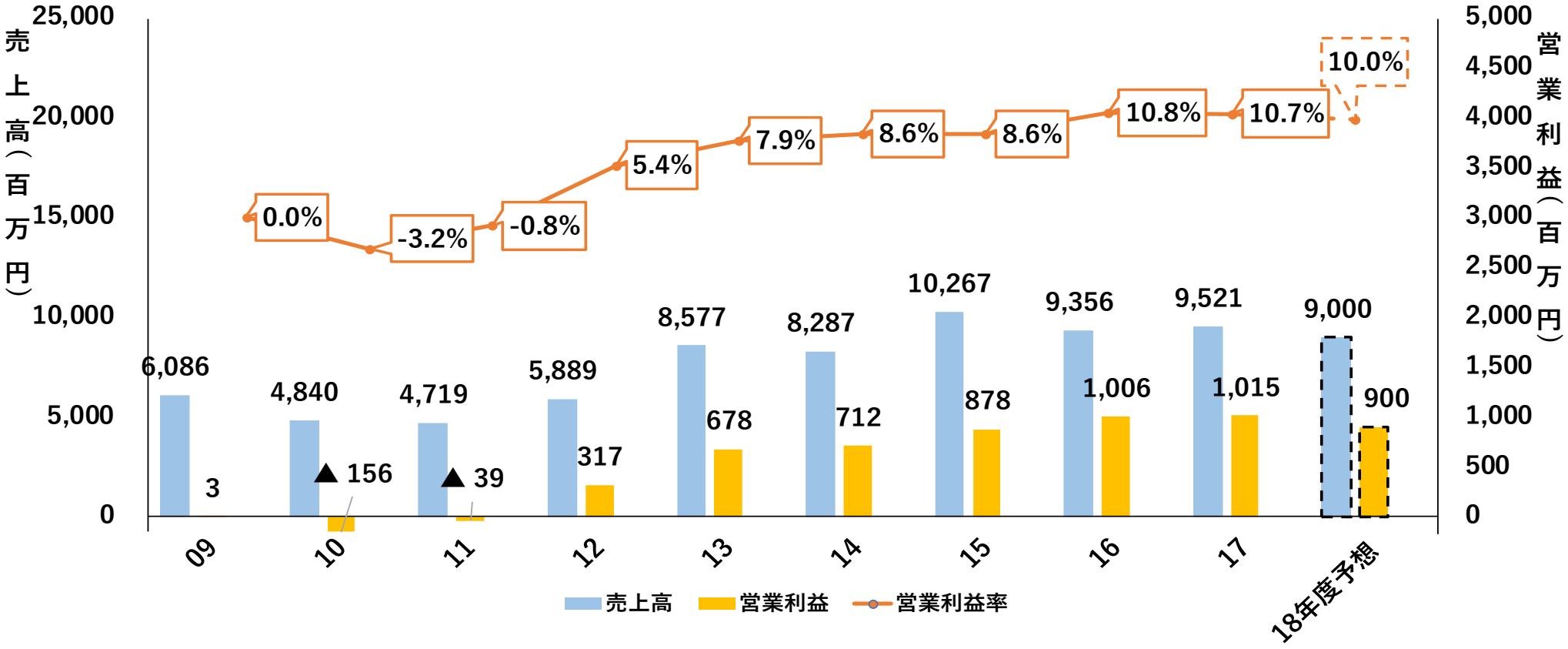
資料出所
全国生ｺﾝｸﾘｰﾄ工業組合連合会
経済産業省　生コンクリート流通調査(単価)
18年度予想は日工

東日本大震災の復興需要一巡もあり17年度の需要は8,370万m3で微減、中期的には東京五輪開催を境に市況は一段と減速の可能性も
一方、4月の東京地区生コン出荷量は前年同月比16%増と大幅増、1m3当り価格も良好に推移
中期的には各エリアで生コン工場の集約化に拍車が掛かると予想

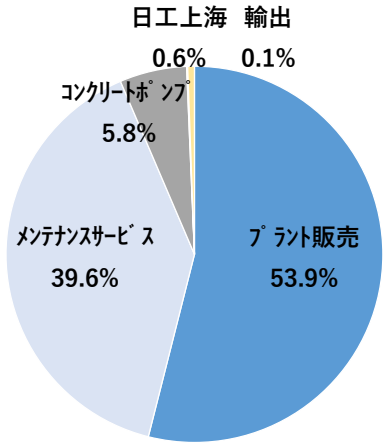
www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

BP詳細と今後の戦略（1）

売上高・営業利益



BP事業売上比率
2017年度

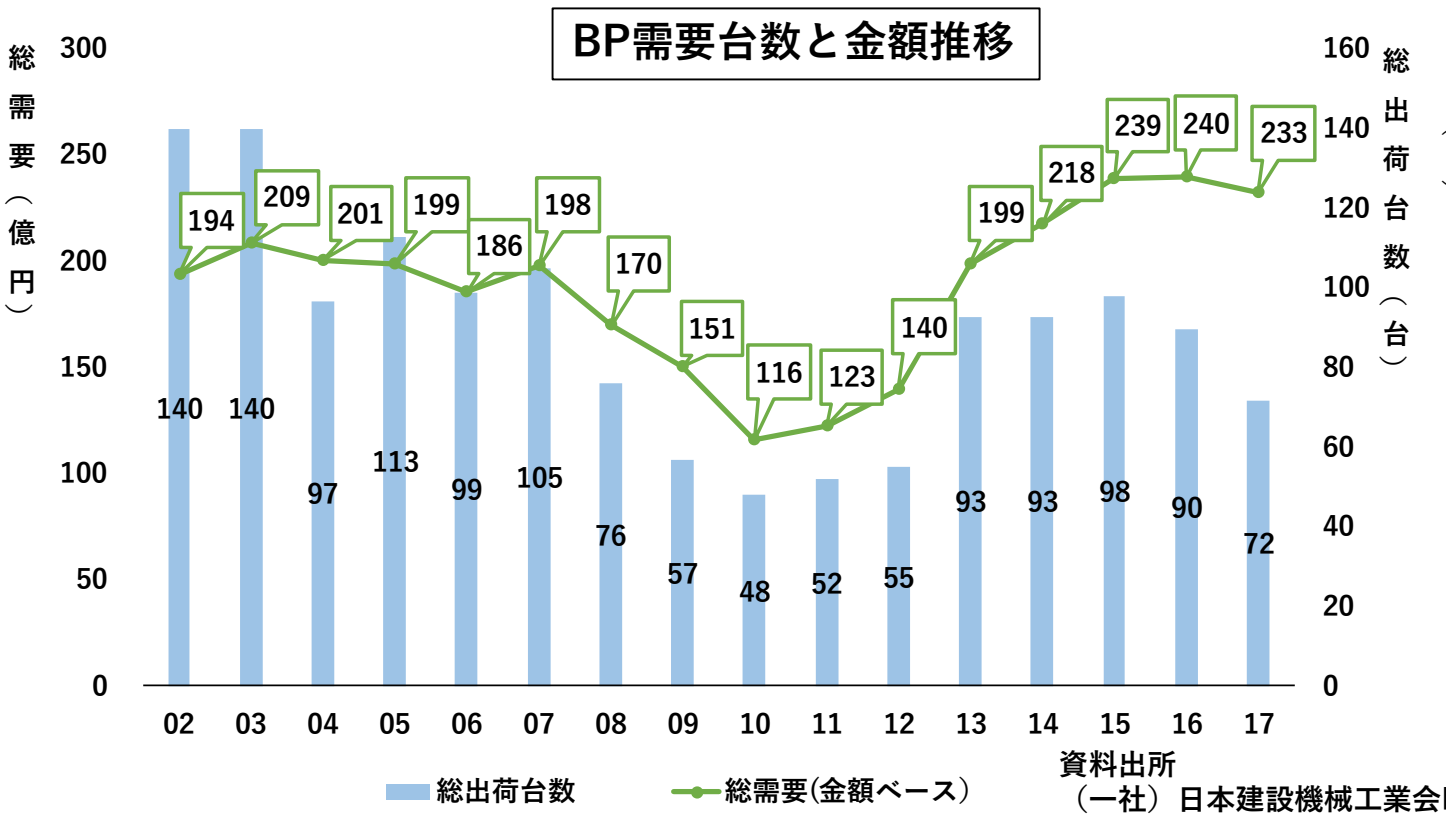


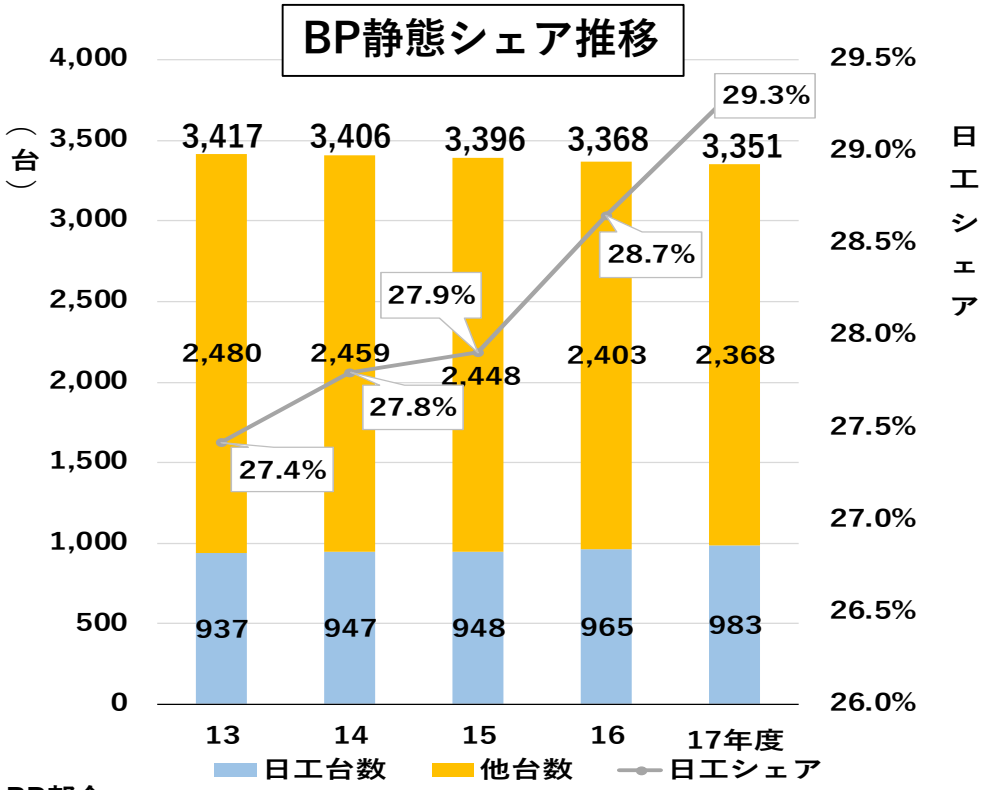
対前年売上高伸長率

プラント販売	99.7%
メンテサービス	118.9%
コンクリートポンプ	61.2%
日工上海	77.5%
輸出	13.0%

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

BP詳細と今後の戦略（2）



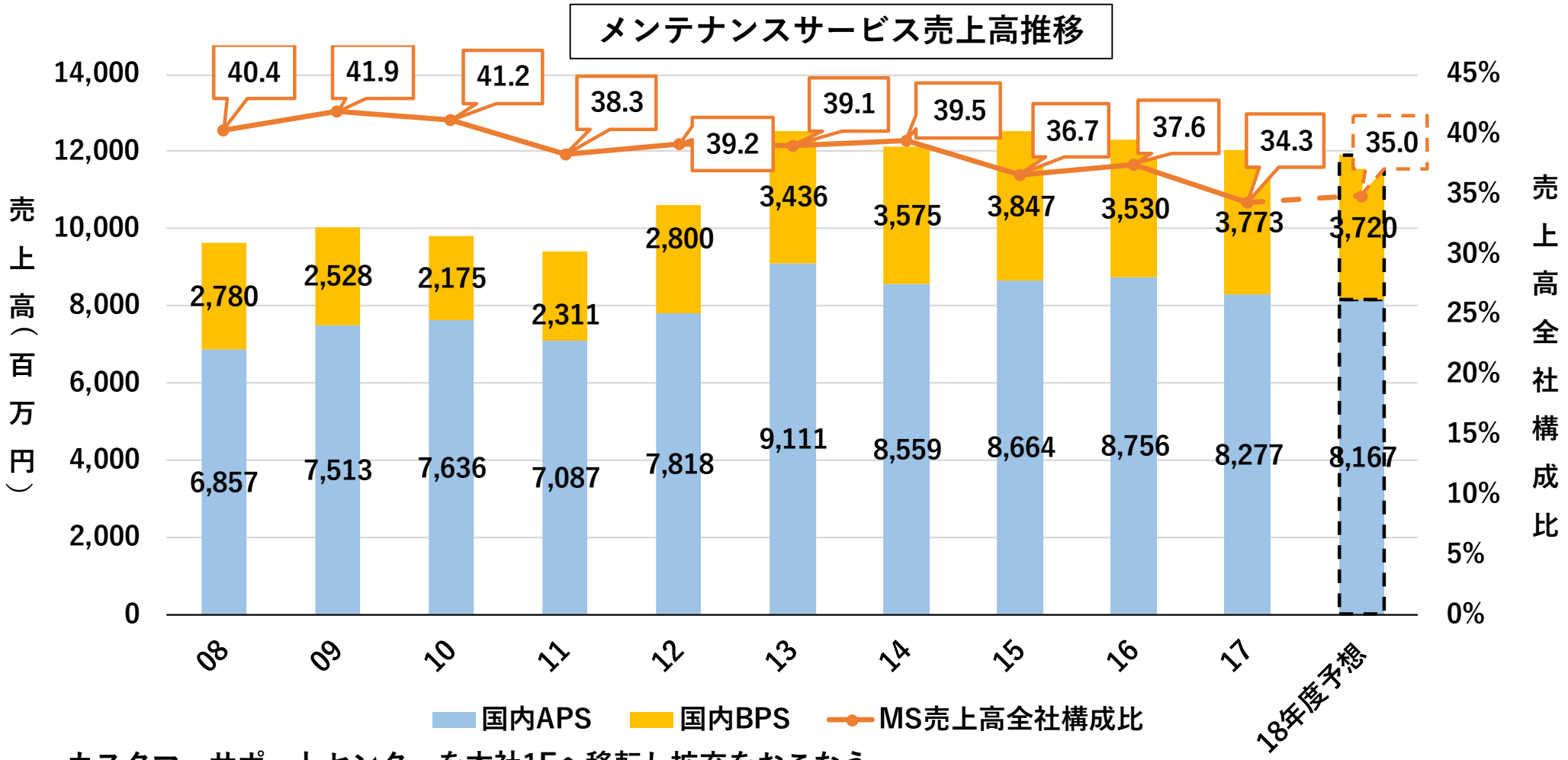


資料出所
（一社）日本建設機械工業会BP部会
（需要金額はメンテナンス・サービス含む）

ｉ-Constructionに伴うプレキャスト業界への拡販、生コン業界の集約化に伴う新たな需要に対して
新製品の投入による差別化を武器に市場占有率を伸ばす

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

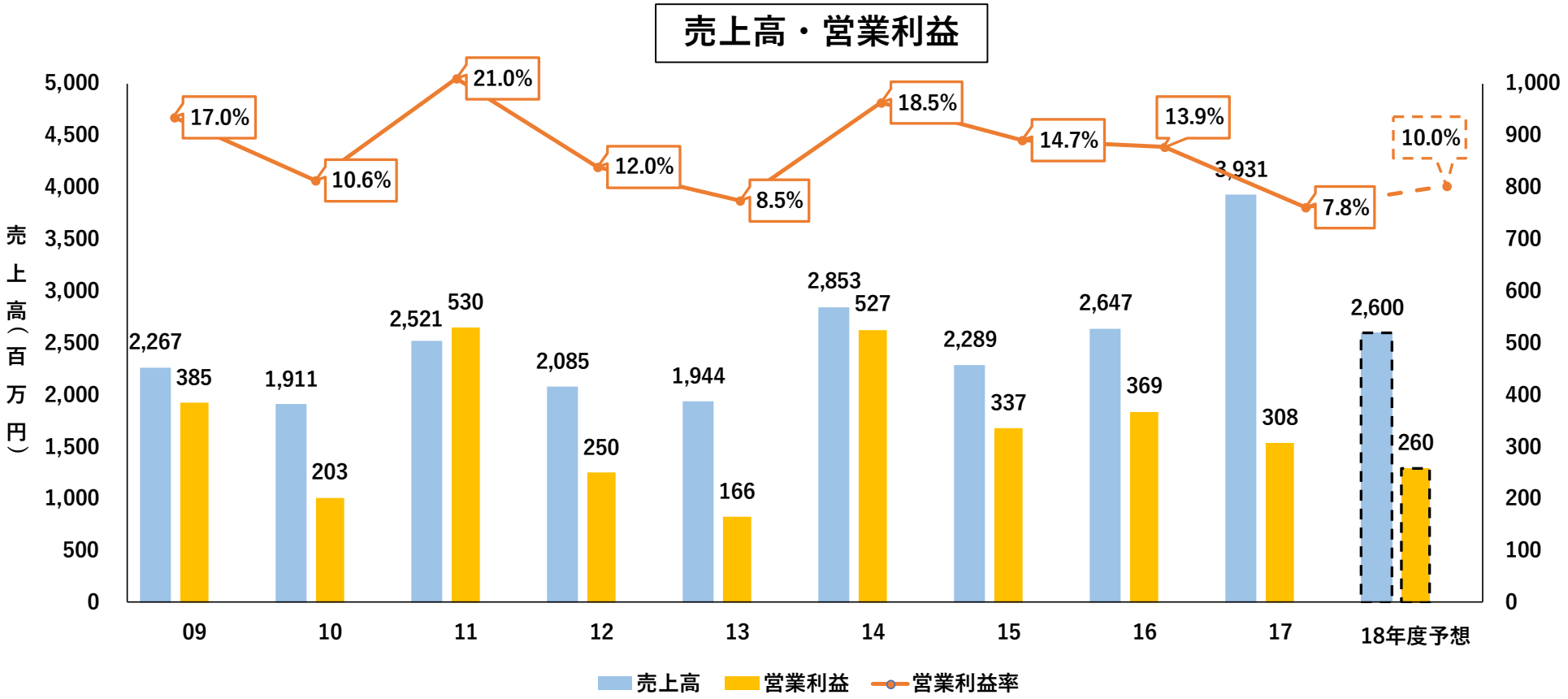
メンテナンスサービス事業の見通しと戦略



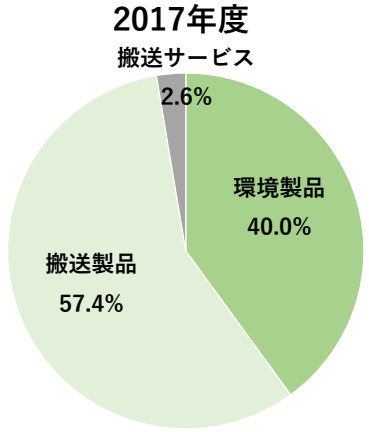
カスタマーサポートセンターを本社1Fへ移転し拡充をおこなう
過去からのメンテナンスのデータを分析し活用することにより、オプション製品の開発・提案、
新型操作盤の導入提案をおこない顧客満足度の向上とともに売上の拡大を図る

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

環境及び搬送関連事業の戦略と見通し



環境及び搬送関連
事業売上比率



対前年売上高伸長率	
環境製品	250.2%
搬送製品	117.2%
搬送サービス	109.8%

過去９年間で電力会社～高炉メーカまで幅広い事業分野に乾燥・加熱を中心とした製品を納入
継続的に高炉メーカに納入するとともに、コア技術を融合させ更なる新規事業領域を開拓へ

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

2019年に100周年を迎えるにあたって

100周年記念イベント

・2018年10月22日～11月2日　100周年プレ展示会「NIKKOメッセ2018」開催

・2019年４月　新中期経営計画スタート

・2019年11月　代理店・主要ユーザー様向け式典

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

参考資料

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

売上高・利益・キャッシュフロー等の推移

（単位：百万円）

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上高	24,553	27,087	32,073	30,707	34,110	32,717	35,114
AP関連事業	13,303	15,054	18,258	15,071	17,252	16,580	17,180
BP関連事業	4,719	5,889	8,577	8,287	10,267	9,356	9,522
環境及び搬送関連事業	2,521	2,085	1,944	2,853	2,289	2,647	3,932
その他事業	4,008	4,058	4,292	4,495	4,301	4,133	4,481
営業利益	541	1,186	2,249	1,832	1,629	1,943	2,104
AP関連事業	896	1,492	2,125	1,214	1,234	1,253	1,348
BP関連事業	▲ 39	317	678	712	878	1,006	1,015
環境及び搬送関連事業	530	250	166	527	337	369	309
その他事業	▲ 7	59	388	451	277	417	463
全社費用	▲ 838	▲ 933	▲ 1,109	▲ 1,074	▲ 1,097	▲1,102	▲1,031
経常利益	621	1,108	1,982	1,582	1,648	1,993	2,103
親会社株主に帰属する当期純利益	122	881	888	1,348	1,896	1,340	2,239

営業CF	574	2,457	2,641	1,001	▲ 1,040	5,064	274
投資CF	299	▲ 954	▲ 936	▲ 305	2,142	▲ 316	41
配当金総額	250	292	292	376	418	426	459
自社株取得額	4	9	1	2	1	1,006	246

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

事業別受注高と受注残高の推移

（単位：百万円）

通期受注高	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	前年比較
AP関連事業	14,493	18,278	17,114	16,743	16,718	17,182	464
BP関連事業	6,293	8,884	10,068	9,541	9,965	9,066	▲ 899
環境及び搬送関連事業	2,037	2,396	2,711	2,796	3,202	2,947	▲ 255
その他	3,741	4,356	4,606	4,202	4,247	4,420	173
合計	26,564	33,915	34,500	33,284	34,134	33,615	▲ 519

期末受注残高	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	前年比較
AP関連事業	3,671	4,685	6,727	6,218	6,356	6,359	3
BP関連事業	1,378	1,685	3,466	2,741	3,350	2,894	▲ 456
環境及び搬送関連事業	－	451	309	815	1,390	387	▲ 1,003
その他	360	424	535	436	531	490	▲ 41
合計	5,410	7,246	11,039	10,212	11,629	10,132	▲ 1,497

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

設備投資、減価償却費、研究開発費、非財務データの推移

（単位：百万円）

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
設備投資	292	335	844	815	877	1,261	550	1,200
減価償却費	432	389	395	422	487	482	472	495
研究開発費	239	256	295	276	227	271	291	300

（単位：人、歳、年）

連結従業員数	775	763	767	796	803	797	807
従業員平均年齢（単体）	44.2	44.7	43.3	43.1	42.2	42.3	42.2
平均勤続年数（単体）	21.5	21.2	20	19.3	18.2	18.5	18.3
女性社員数（単体）	10	11	11	10	12	15	17
海外従業員数(連結)	92	90	91	95	92	91	101
外国人従業員(連結)	92	90	91	95	94	93	101

環境負荷軽減新製品

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
新製品名	・砂専用乾燥装置 ・高温予熱バーナ	・NTB-Ⅱバーナ	・新型バグフィルタ	・VPシリーズAP	－	・フォームドAS製造装置
環境負荷軽減項目	・プラント生産効率ＵＰ ・省エネルギー	・省エネルギー ・低燃焼領域での燃焼効率ＵＰ	・省スペース ・省エネ・排ガス量低減 ・低騒音	・再生材の臭気ガス拡散防止	－	・中温化合材の製造対応

www.nikko-net.co.jp ⓒ Copyright NIKKO CO., LTD. 2018 All rights reserved.

ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください
（東京でのミーティングも可能）

日工株式会社　財務部　八軒(はちけん)　宛

電話　078-947-3141
IR-nikko@nikko-net.co.jp

nからはじまる未来創造

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しが変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。
従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。